

退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

〒020-0024 盛岡市菜園一丁目4-10第二産業会館3階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.webcrow.jp/>

発行・編集責任者 澤 田 新



〈写真は三戸城にて〉

目次

新理事長挨拶／組織財政検討委員会経過報告 …2
医療費一部負担金免除措置／高額療養費の改正 …3
現職会員加入のすすめ／研修旅行アンケート結果 …4
紫波地区活動報告／同封物の問合せ先 ……………5
公益文化事業/囲碁大会／陳情行動報告 ……………6
おくやみ欄 ……………7
満100歳を迎えられた方々／あとがき ……………8

思い出の“フォト”

歴史ミステリー！青森県三戸城を訪ねる旅 (2016.9.29)

遠野地区会は毎年みちのくの歴史を探訪する日帰りツアーを実施しています。

今年は盛岡南部藩と遠野南部とのかかわりを学ぶ「三戸城」を訪れました。

講師が作成する資料で講義を受けながら、バス内の時間は足りない位でした。

勿論、途中には食事や買い物などお楽しみも満載でした！

設立の趣旨に学び互助の輪を広げるために

理事長 佐藤 淳一

2016年9月に就任以来、退教互の役員として仕事をさせていただいております。諸先輩の志を受け継ぎ、制度の維持発展をめざして参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、1961年に日本初の医療互助制度として誕生した退教互も、今年設立56年目を迎えることになりました。組合員の退職後の生活の安定を図るために、岩教組の努力によって設立され、全国に類を見ない組合員のための生涯福利厚生制度として維持されてきた退教互ですが、今後も退職会員の皆様のご理解・ご協力のもと、岩教組の現職組合員がその精神を受け継いで互助精神の結集として維持発展させていく決意です。

これまで、社会情勢の変化によって、掛金納入者に対する給付対象者の増加、公定歩合の影響による資金運用率の低下、少子高齢化の影響による医療制度の改悪、社会保障費の増大に対する年金制度の改悪など、退教互の制度維持にとっては困

難な状況がいくつもありました。しかしその度に、掛金期間の延長、電算処理の導入による担当職員の削減、付加給付の削減、経費削減対策の実施などの工夫と努力によってそれらを乗り越えてきました。

今年、岩教組は結成70年を迎え、多様化する学校現場の問題・課題解決に向けて団結して運動を進めています。また、岩手教育会館も2018年2月の完成をめざして建設が進められています。退教互としても、これからも時代の変化に迅速に対応しながら、設立の趣旨と精神を大切に、自己変革をたゆまず続けていく必要があると考えます。

終わりに、退教互会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、退教互を維持発展させる決意を述べ挨拶いたします。



組織財政検討委員会経過報告



昨年度の組織財政検討委員会で、当面給付事業等の変更を行わず現行制度のまま運営することを決定し現在に至っておりますが、さらに長期に安定した事業継続のためには、どうあるべきかについて、引き続き組織財政検討委員会に諮問することとなり、第1回の検討委員会で下記諮問事項を確認しました。

現在の「相互扶助」制度を長期にわたって安定化させ、維持発展させていくためには、今後の制度全般、給付事業等がどうあればよいか。

これまでに開催した3回の委員会の中では次の資料をもとに検討がなされました。

1. 過去10年間の現職会員数、退職会員数、教職員数の推移表と今後の予想表
2. 現職会員年齢別加入状況
3. 年度別退職会員資格取得者数と死亡者数
4. 過去5年間の療養費支払額、支払件数の推移表
5. 資産、正味財産の推移表と今後の予想表
6. 最近動向と今後の課題等

今後の検討委員会では、今年度の決算をふまえ、再度検討を加え2017年9月末を目途に答申が出される予定です。

東日本大震災被災者への 医療費一部負担金の免除措置 本年12月31日まで延長

3月11日で東日本大震災発生からまる6年が経過しますが、岩手県内では未だ1,123人の方々の行方が分らず（1月31日現在）、懸命な捜索が続けられています。

岩手県内市町村では、国保・後期高齢者医療加入者を対象に、被災された方々への「一部負担金免除」措置を現在も継続しています。

「一部負担金等免除証明書」の交付を受けている方々は、会員証を使用せず、必ず証明書を提示して受診してください。なお、免除対象外となっている柔道整骨院等での施術については、会員証・診療報酬請求書を使用して構いません。

また、退教互では一部負担金免除期間中にご入院なされた方々へ「入院料補助費」の給付を行っています。ご入院の際は忘れずにご申請ください。

台風10号被災者への 医療費一部負担金の免除措置 岩泉町・宮古市・久慈市で実施

全国各地で猛威をふるい、甚大な被害をもたらした台風10号。8月30日には岩手県沿岸部を襲い、岩泉町、宮古市、久慈市を中心に、河川の氾濫・土砂崩れなどで21人が死亡（内、退職会員3人）、行方不明者2人、住宅被害4,272棟、ライフラインの分断等多くの被害をもたらしました。

（被害状況は2月10日現在）

岩泉町、宮古市、久慈市の三市町では、東日本大震災と同様に、国保・後期高齢者医療の加入者を対象に一部負担金の免除措置を講じました。

退教互では、一部負担金の免除期間中に入院された方々へ「入院料補助費」を給付しますので、入院された方はご連絡ください。

但し、その入院分の医療費について、会員証を使用して退教互が支払っている場合については、入院料補助費の給付はありません。

自己負担限度額引き上げへ — 70歳以上の高額療養費

70歳以上の方々について、2017年と2018年8月に2度にわたって引き上げが行われます。

●現行（70歳以上）

区分	外来 (個人)	限度額 (世帯※1)
現役並み (年収370万円以上) 健保 標準28万円以上 国保・後期 課税所得145万円以上	44,400円	80,100円 + 1% (44,400円)
一般 (年収156～370万円) 健保 標準26万円以下 国保・後期 課税所得145万円未満※2	12,000円	44,400円
住民税非課税	8,000円	24,600円
住民税非課税 (所得が一定以下)		15,000円

●2017年8月～2018年7月

区分	外来 (個人)	限度額 (世帯※1)
現役並み	57,600円	80,100円 + 1% (44,400円)
一般	14,000円 (年間上限 14.4万円)	57,600円 (44,400円)
住民税非課税	8,000円	24,600円
住民税非課税 (所得が一定以下)		15,000円

●2018年8月～

区分（年収）	外来 (個人)	限度額 (世帯※1)
年収1160万円～ 標準83万円以上 課税所得690万円以上	252,600円 + 1% (140,100円)	
年収770万円～1160万円 標準53～79万円 課税所得380万円以上		167,400円 + 1% (93,000円)
年収370万円～770万円 標準28～50万円 課税所得145万円以上		80,100円 + 1% (44,400円)
一般 (年収156万～370万円)	18,000円 (年間上限 14.4万円)	57,600円 (44,400円)
住民税非課税	8,000円	24,600円
住民税非課税 (所得が一定以下)		15,000円

※1 同じ世帯で同じ保険者に属する者

※2 収入の合計額が520万円未満（1人世帯の場合は383万円未満）の場合も含む

〈 〉 内の金額は、過去12ヶ月以内に3回以上高額療養費の支給に該当した場合の4回目以降に適用される限度額（多数回該当）

★現職会員加入のすすめ★

退教互現職会員の拡大!!

年金・医療・介護を含めた社会保障の負担増・給付減が進められる中で、退教互の重要性が増しています。現職会員の学習と拡大のため、岩教組新聞号外「退職後は退教互がスゴイらしい」を発行しました。会員拡大は今年の同時期の93人を上回り、148人と伸びています。退教互の優位性を広め、組合加入と合わせて、さらに取り組みを強めていきます。

岩教新聞

退教後は
たいそう
退教互が
スゴイらしい

1ヶ月の
医療費負担
最大でも
6000円

病院・薬局
窓口会計なし!!

退職後から
終身給付!!

自助努力には限界…共助・互助で安心を
まだ未加入の人は準備を現職中から!!

□現在のこの国「ニッポン」は、世界保健機関（WHO）の世界保健統計2016では、世界一の長寿国は日本、男女平均で83.7歳。公的年金、相互補償3種、年金保険給付制度、しかし平均月給給付額は減少。給付額、社会保険の負担増が給付増のペースを、医療・介護、高齢者の生活費の負担増を引き上げ、給付の削減を招いている。

□まさに退教互の出番
給付から見て、今退教互はまさに「現職」退職後の生活を支え続けています。年金・医療・介護の負担増に「退教互のこころ」（個人型）と「退教互のこころ」（法人型）とを組み合わせ、給付を上げ、給付の削減を招いている。

詳しい説明は2ページから

療養費給付事例

一般（退職後加入）の場合

入院して、月々の療養費と手術費等に相当する医療費が支払われます。退教互は、月々の療養費、手術費、入院費、退教互が支払います。退教互は、月々の療養費、手術費、入院費、退教互が支払います。退教互は、月々の療養費、手術費、入院費、退教互が支払います。

退教互加入の場合

入院して、月々の療養費と手術費等に相当する医療費が支払われます。退教互は、月々の療養費、手術費、入院費、退教互が支払います。退教互は、月々の療養費、手術費、入院費、退教互が支払います。退教互は、月々の療養費、手術費、入院費、退教互が支払います。

退教互の備えは現職のうちに

退教互の備えは現職のうちに

退教互の備えは現職のうちに

退教互研修旅行アンケート結果!!

観劇・コンサート、景勝地・離島、歴史探訪に興味!
北海道、北陸、近畿、九州が人気!

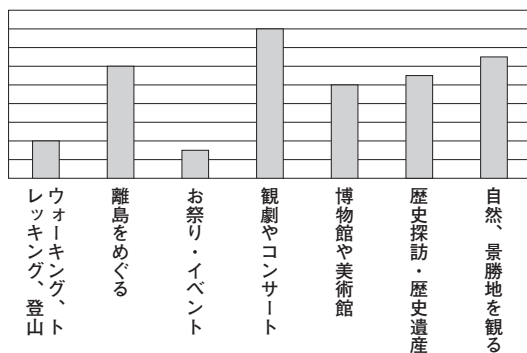
退教互研修旅行のアンケート（16年12月実施）結果がまとまりました。

- Q1 興味・関心、旅行内容では、①観劇・コンサート ②自然・景勝地散策
③離島めぐり ④歴史探訪 が上位を占めました。
- Q2 旅行先では、①北海道 ②北陸、近畿、九州 ③四国・東北 ④山陰・沖縄
- Q3 旅行代金は、①5～7.5万 ②7.5万～10万 に集中しました。
- Q4 季節は、①10月 ②5月 ③6月、9月
- Q5 期間は、①3日間 ②4日間 海外では7日間
- Q6 参加形態 ①夫婦 ②単独 ③友達・仲間
- Q7 参加できない理由 ①留守宅や家族の問題 ②仕事や地域の役回り ③費用

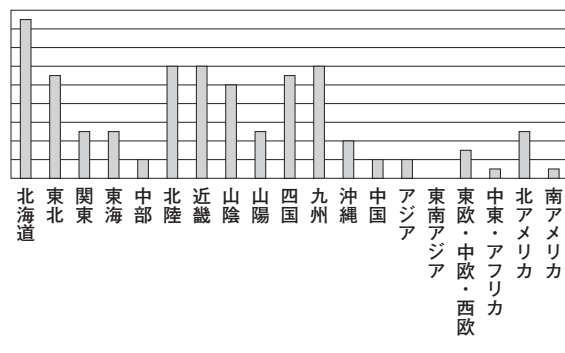
結果は今後の退教互研修旅行企画の参考にいたします。

地区事務局の皆様、回答者のみなさま、ご協力ありがとうございました。

■参加したい・興味がある旅行内容



■行ってみたい旅行先



地区活動報告

～「紫波地区 学習会とうたごえの集い」～

紫波地区 事務局長 吉田 矩彦

2016年11月26日午前11時から2時間の予定で、盛岡市都南地区にある「ふれあいランド岩手」において、退教互紫波地区会の若手会員を中心にした「学習会」と「うたごえの集い」を開催しました。

近年は、退職しても65歳までは年金が満額支給されないこともあり、退職後も再任用などで引き続き勤務している人が多く、すぐには退教互の仲間と交流ができてにくい環境になっていることから、あえて「退教互若手会」として企画しました。

まず、午前中は本部から藤原課長さんにおいでいただき「退教互の意義と活用促進」の観点から退教互の組織や利用方法など大変わかりやすい説明をいただき、会員からの質問や意見なども出て有意義な勉強会となりました。その後、ふれあいランド内の食堂で希望のものを注文して昼食にしました。

そして、いよいよメインの歌声になりました。

演奏は「北の街 ナツメロ合奏団」をお願いいたしました。ご存じの方も多いと思いますが、この合奏団は「音楽を通して人生を豊かに生きよう」と20年近くボランティア活動をしている合奏団です。これまで350回を超える公演をこなし構成メンバーも退教互の仲間が中心で、震災以降は被災地への公演も増え、ますます活躍し聴く人に元気を届けているということでした。

当日は、まず演奏を聴き、その後用意した歌集を見ながら皆で歌い、童謡から唱歌、叙情歌、さらに演歌独唱まで、参加した会員のリクエストに快く応じていただき、みんなで楽しいひとときを過ごしました。

今回の催しは、地区会としても初めてのことであったので、参加は30人と、予定したよりも少なめでした



が「こういう会なら毎月でもいい」や「久しぶりに歌って健康増進になりました」など好評価をいただきました。

紫波地区会では今年度も、研修会や囲碁、麻雀、ゲームなどのレクリエーションをしたり、宿泊研修、日帰り研修、自然に親しむ散歩など、いろいろな行事を通じて会員間の親睦を図っています。

今回、同封しております「がん保険」と「医療保険」につきましてのお問い合わせは、直接下記へお願いいたします。

三泉トラスト保険サービス(株) フリーダイヤル 0120-357-212 (通話料無料)

担当 中村 又は個人営業グループ まで

2016 公益文化事業

2016年度の公益文化事業は、岩手教育会館、岩手県教職員互助会、岩手県高校教育会館との共催により、9月に「いしがきミュージックフェスティバル」11月に「岩手教育芸術祭美術展、岩手県婦人合唱発表会、倉田真由美 講演会」を開催し、沢山の方々にご来場いただきました。

美術展の審査結果は次のとおりです。

	絵画の部	書道の部	写真の部
芸術祭賞	中 村 治 章 (盛岡市)	三 浦 真 琴 (一戸高)	北井崎 昇 (盛岡市)
優 秀 賞	富 田 喜平司 (二戸市)	上 野 光 久 (盛岡第四高)	瀬 川 誠 孝 (花巻市)
	阿 部 龍 一 (上野中)		
奨 励 賞	飯 田 節 子 (盛岡市)	藤 岡 宏 章 (県教委)	佐 藤 孝 美 (久慈市)
	伊 藤 勇 (奥州市)	芳 賀 尚 代 (盛岡市)	浅 川 義 廣 (奥州市)
	菊 池 和 弘 (宮古市)	滝 川 小百合 (盛岡第一高)	坂 下 栄次郎 (花巻市)

第34回全国教職員囲碁大会

金沢 壽子さん 準優勝 **女流戦**

皆川 修さん 第3位 **名人戦**

佐藤 洋明さん 敢闘賞 **級位戦**



岩手県予選対局風景

去る、1月6日に東京・市ヶ谷の日本棋院会館で開催された第34回全国教職員囲碁大会（全国教職員互助団体協議会主催）に於いて、岩手退教互から代表出場した金沢壽子さん、皆川修さん、佐藤洋明さんが、それぞれ準優勝、第3位、敢闘賞に輝きました。おめでとうございます！

この全国大会の出場をかけた岩手県予選を、昨年11月22日に農林会館で開催しました。各地区から選抜された45名（名人戦16名、段位戦21名、級位戦5名、女流戦3名）の棋士によって、白熱した戦いが繰り広げられ、盛会裡に終了しました。岩手県予選の結果は次のとおりです。

名人戦の部	段位戦の部	級位戦の部	女流戦の部
優 勝 皆川 修 六段 (東磐井)	千葉 宏 四段 (江刺)	佐藤 洋明 1級 (西磐井)	金沢 壽子 三段 (盛岡)
準優勝 馬場 雄三 六段 (稗貫)	高野 昭悦 四段 (江刺)	及川 剛 3級 (紫波)	佐々木八重子 初段 (和賀)
第三位 阿部 健治 六段 (紫波)	木村 好孝 四段 (胆沢)		
第三位 藤野 薫 六段 (盛岡)	多田 義民 三段 (盛岡)		

※太字は全国大会派遣者、() 内は地区名

2016 年度の陳情行動

今年度も、現職・退職会員の皆様に「国民が安心して暮らせるための社会保障制度の確立等を求める陳情」の署名活動にお取り組みいただきました。その結果集約された署名簿の回収数は2,981枚（回収率19.8%）で、署名者総数は20,690名（全国集計では544,823名）となりました。

この署名簿を携え、去る11月17日に全国の教職員互助団体からの陳情団と共に、政府・政党・関係国会議員への陳情を行いました。岩手退教互からは谷藤勇理事、吉田矩彦評議員、松淵昂東京地区会長、事務局藤原の4人が参加し、岩手県選出の国会議員への陳情も行ってきました。

陳情署名活動にお取り組みくださいました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

■おくやみ申し上げます<敬称略>

会報84号掲載以降の方々です。退教互から
香奠を給付し、ご冥福をお祈りしました。

【盛岡地区】			
中野 定治	2014年 3月19日	83歳	
佐藤 弘子	2016年 4月 9日	89歳	
高橋 セツ子	7月14日	77歳	
菊池 昌守	7月23日	81歳	
三浦 誠	8月10日	79歳	
守屋 敬	8月13日	73歳	
遊佐 正	8月22日	84歳	
伊藤 貞子	8月23日	101歳	
三上 正二	8月24日	81歳	
小泉 泰助	8月25日	83歳	
菊池 文雄	8月28日	91歳	
藤澤 ノブ	8月29日	89歳	
須藤 克己	9月 3日	88歳	
竹花 陽一郎	9月 8日	85歳	
堀井 信博	9月16日	93歳	
中野 和雄	9月19日	75歳	
岩淵 フジエ	9月20日	85歳	
濱田 牧	9月22日	88歳	
笹森 勝美	10月 6日	85歳	
佐藤 良平	10月19日	83歳	
岩川 宏子	10月23日	75歳	
三上 雄平	11月 1日	92歳	
紀 正	11月10日	92歳	
小花 正巳	11月12日	86歳	
浅田 常夫	11月23日	87歳	
佐藤 利美	11月30日	93歳	
朝倉 昭夫	12月 2日	90歳	
福本 清一	12月13日	85歳	
佐藤 正吉	12月15日	75歳	
菊池 日出子	12月20日	88歳	
佐藤 孝	12月20日	86歳	
向井 孝	12月28日	80歳	
佐座 昭吾	12月29日	96歳	
佐々木 亮	12月31日	86歳	
工藤 直正	2017年 1月 3日	91歳	
菅原 新一	1月 5日	86歳	
中屋 保則	1月 6日	89歳	
岩間 晟也	1月 6日	80歳	
小山 寛	1月 8日	86歳	
佐々木 幸男	1月10日	84歳	
浅沼 幸	1月15日	93歳	
	1月15日	77歳	
	1月20日	87歳	
	1月31日	86歳	
	2月 4日	87歳	
【岩手地区】			
(雫石高校)			
窪田 大介	2016年11月 7日	58歳	
根口 勉	12月 4日	83歳	
大村 次雄	12月14日	87歳	
横田 潤	12月29日	80歳	
工藤 嘉彦	2017年 1月 3日	79歳	
主濱 幸彦	2月 4日	71歳	
【紫波地区】			
吉田 禎吉	2016年 9月 3日	93歳	
小林 威郎	10月30日	78歳	
粒針 秀重	11月 9日	86歳	
泉館 重雄	11月19日	89歳	
咲山 多子	11月26日	87歳	
大谷 晴彦	12月25日	73歳	
石杜 幸子	12月31日	80歳	
藤原 ハツエ	2017年 1月12日	94歳	
工藤 順一	1月14日	90歳	
吉田 徹	1月26日	64歳	
洪屋 誠悦	1月30日	89歳	
【稗貫地区】			
菊池 敬子	2016年 8月23日	78歳	
南館 保三郎	9月 8日	77歳	
高橋 トシ	9月 9日	96歳	

【稗貫地区】			
斎藤 道男	2016年 9月24日	93歳	
赤井 ハナ	10月 9日	92歳	
多田 成男	10月21日	90歳	
紺野 佳子	11月 3日	78歳	
平賀 盛男	11月 5日	71歳	
岩間 豊子	11月 7日	88歳	
細川 義弥	11月12日	93歳	
紺野 浩一	11月16日	79歳	
佐藤 志郎	12月 4日	88歳	
川村 眞一郎	12月 8日	97歳	
稲葉 文雄	12月17日	82歳	
佐々木 祐一	12月18日	88歳	
半田 ミワ	2017年 1月 1日	96歳	
高橋 節郎	1月 9日	84歳	
高橋 五郎	1月13日	87歳	
中村 茂裕	1月17日	76歳	
【和賀地区】			
菊池 則子	2016年 4月30日	89歳	
關 愛子	9月 5日	84歳	
阿部 守男	2016年10月11日	79歳	
助川 恵美	(上野中学校)		
	10月23日	49歳	
川邊 隆男	10月30日	93歳	
八重 雅夫	10月30日	78歳	
高橋 司男	11月11日	82歳	
高橋 昌廣	11月15日	86歳	
昆 恵子	11月25日	82歳	
【胆沢地区】			
岩崎 景吉	2016年 8月 3日	86歳	
菊地 サヨ	8月14日	85歳	
佐藤 仁	8月30日	89歳	
松本 トキ	9月 7日	87歳	
佐藤 章	9月 8日	80歳	
佐藤 巖	9月 9日	89歳	
佐々木 富紀子	9月12日	86歳	
松川 文雄	9月19日	86歳	
高橋 富士子	9月25日	87歳	
三宅 政治	9月25日	79歳	
倉成 千春	10月10日	85歳	
小野寺 努也	10月21日	82歳	
山口 舒也	11月 4日	89歳	
佐々木 卯平	11月26日	101歳	
太田 強一	12月 5日	81歳	
村上 夕子	12月 7日	82歳	
石川 淳	12月 8日	92歳	
榊 テル子	12月19日	88歳	
藤原 キミ	12月28日	101歳	
伊勢 トキ子	2017年 1月 3日	80歳	
千葉 紀一	1月 3日	75歳	
高橋 広文	(水沢商業高校)		
	1月 8日	37歳	
佐藤 賢一	1月11日	79歳	
大光 敏	1月12日	82歳	
伊藤 梧郎	1月26日	89歳	
伊藤 哲雄	2月 7日	94歳	
高橋 カツ	2月18日	96歳	
【江刺地区】			
佐藤 セヨ	2016年 9月 7日	89歳	
熱海 方	11月25日	92歳	
中村 二郎	2017年 1月10日	84歳	
安部 榮一郎	1月15日	91歳	
【西磐井地区】			
多門 堯真	2016年 8月19日	87歳	
千葉 秀海	9月 3日	88歳	
佐藤 重子	9月24日	87歳	
南館 廣太郎	11月12日	82歳	
千葉 不二子	11月28日	88歳	
吉田 博	12月12日	88歳	
佐藤 千介	12月30日	89歳	

【西磐井地区】			
川島 干夫	2017年 1月 2日	86歳	
大前 景路	2月 1日	76歳	
小野 喜明	2月 1日	68歳	
【東磐井地区】			
(千厩高校)			
萩庄 泰伸	2016年7月24日	38歳	
鈴木 キヌ	8月24日	90歳	
太齊 忠	8月26日	86歳	
及川 志保子	10月 7日	74歳	
佐竹 義保	11月25日	87歳	
小野寺 玲子	12月 5日	73歳	
太齊 久枝	12月 8日	84歳	
加藤 喜之助	2017年 1月 2日	89歳	
【気仙地区】			
横澤 千恵子	2016年 8月19日	93歳	
上野 西兵衛	10月22日	83歳	
菊地 亮一	11月 3日	84歳	
柏崎 征治郎	11月14日	89歳	
金野 格	12月13日	87歳	
泉田 力	12月31日	86歳	
千田 鼎子	2017年 1月17日	93歳	
【釜石地区】			
三浦 キエ	2016年 9月2日	82歳	
西川 三千男	10月 9日	74歳	
大洞 緑	10月14日	99歳	
柴田 キイ子	11月29日	91歳	
藤井 良治	2017年 1月31日	89歳	
【遠野地区】			
黒淵 利子	2016年10月17日	69歳	
佐藤 正夫	10月30日	88歳	
鈴木 重三	11月 8日	89歳	
【宮古地区】			
熊谷 治司	2016年 3月 2日	92歳	
昆 忠	7月24日	89歳	
伊藤 ミヨ	8月25日	87歳	
澤口 昌一	9月18日	87歳	
藤田 忠	12月16日	86歳	
大谷 義英	12月22日	72歳	
出口 米治	12月27日	85歳	
山野 淳彦	2017年 2月 3日	84歳	
【北地区】			
八重 櫻子	2016年 8月30日	95歳	
八重 久美子	9月 2日	68歳	
【九戸地区】			
大崎 宏	2016年 9月22日	86歳	
卯城 富治郎	10月 3日	85歳	
大西 敏男	11月16日	78歳	
関 信明	12月25日	83歳	
【二戸地区】			
田口 幸子	2016年 8月31日	83歳	
佐藤 節夫	9月21日	86歳	
工藤 スミエ	10月 6日	88歳	
生内 克幸	(一戸高校)		
	10月11日	60歳	
黒沢 進	11月 8日	80歳	
大西 敏男	11月16日	78歳	
清藤 芳太郎	12月 7日	69歳	
奥山 幸子	2017年 2月 2日	88歳	
【東京地区】			
坂上 カヅエ	2016年1月25日	93歳	
阿部 卓郎	5月19日	83歳	
成田 滋	8月 6日	89歳	
相馬 典	9月15日	87歳	
千葉 正直	10月21日	93歳	
【仙台地区】			
木皿 欣一	2016年 8月21日	87歳	
小野寺 ちゑ子	12月30日	98歳	
【秋田県秋田市】			
中村 アエ	2016年 9月 4日	91歳	



満100歳!!
おめでとう
ございます。

84号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生日を迎えられましたので、ご紹介いたします。



高橋 アヤさん
(岩手地区)

1916年9月9日生
1975年4月
寺田小学校退職

今もなお八幡平市のひなぎく幼稚園の園長先生として幼稚園にかかわり、近くに娘さんとお住まいです。運動会が近いお忙しい時期にも関わらず笑顔で対応していただきました。毎日をお元気にお過ごしです。



遊坐 篤子さん
(盛岡地区)

1916年9月9日生
1975年4月
日詰小学校退職

訪問時には昔ご主人の関係で満州に住み、敗戦で子ども3人と引き揚げ、その後教壇に立つ迄ご苦労されたお話を聞きました。最近まで趣味の手芸をされており、見事な作をいただてきました。



宇部 トシさん
(九戸地区)

1916年10月14日生
1967年3月
野田小学校退職

九戸郡のグループホームに入所しており、ホーム内で行うトランプが好きで、特に七並べが得意とか。ご自分の歯が11本もあり、好物はグラタンやシチュー等。歩くのもスムーズで帰り際はお見送りいただきました。



小岩 慎子さん
(盛岡地区)

1916年11月23日生
1972年3月
一関小学校退職

訪問時は盛岡市の病院に入院中でしたがご家族同席のもと賑やかにお祝いをしました。県南の小学校勤務時は片道10km以上も歩いて通われたそうです。趣味は刺繍、御詠歌、ゲートボール等とのことでした。



佐々木喜一さん
(気仙地区)

1916年11月30日生
1975年4月
高田高校退職

虚弱体質で7回程の入院経験をした少年時代から軍隊入隊で死線を越えて、現在に至っているとのことです。趣味は美術観賞で90歳頃まで主に水墨画を描いていました。朝昼夕3食をよく咀嚼して頂くことが健康の条件とのことでした。

佐々木タカさん
(岩手地区)

1917年1月14日生
1975年4月
西根中学校退職

八幡平市の老人施設に入所中。ご都合で直接お会いすることができなかったのですが、誕生日前日に娘さんとお会いしご様子を伺うことができました。毎日お元気にお過ごしとのことでした。



昆野キヨ子さん
(和賀地区)

1917年1月17日生
1972年3月
梁川小学校退職

北上市のグループホームに入所中。訪問時は少し緊張気味でしたが写真撮影には笑顔で対応していただきました。歌を歌うことがとても好きなそうです。好き嫌がなく何でも食べることが健康の秘訣だと言います。



小野寺光雄さん
(東磐井地区)

1917年1月19日生
1975年4月
千厩農業高校退職

現在、宮城県名取市の息子さん宅に於いて、主治医の指示により酸素補給を受けておりますが、順調とのことです。時には家の前の公園で子供（幼児）達の成長を見守り乍ら遊んでおられるそうです。

あとがき

岩教組の支部や分会を訪問して、退教互設立の趣旨や制度・内容を伝え、現職会員の拡大に取り組んでいる。現職会員であっても新たな発見があるようだ。毎月の療養費給付台帳（1月支払額は7,442万円、31,400件）を見るにつけ、先達は素晴らしい組織をつくったものだ。岩教組結成から70周年、退教互は56年目に入った。常に原点に立ち返りつつ、現状に即した不断の取り組みが求められていることを実感する毎日である。（さ）